

株式会社 千趣会 (東証1部 : 8165)
2018年度 第2四半期決算説明会

ウーマン スマイル カンパニー

senshukai

2018年7月26日

- 1 2018年度第2四半期連結業績について
- 2 セグメント別概況について
- 3 2018年度連結業績予想について
～2018年度当初予想修正要因と下期対策～
- 4 その他

1 2018年度第2四半期連結業績について

2018年度第2四半期連結決算損益（対前年同期比）

（単位：百万円）

	17年第2Q実績		18年第2Q実績		対前年	
		売上比		売上比	増減額	売上比 差異
売上高	63,186		57,199		△5,987	△9.5%
売上原価	34,212	54.1%	31,357	54.8%	△2,855	0.7%
売上総利益	28,973	45.9%	25,842	45.2%	△3,131	△0.7%
販管費	30,222	47.8%	26,981	47.2%	△3,241	△0.6%
営業利益	△1,248	△2.0%	△1,138	△2.0%	110	0.0%
経常利益	△849	△1.3%	△993	△1.7%	△144	△0.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△6,208	△9.8%	△1,153	△2.0%	5,055	7.8%

- ◆ 売上高 : 通信販売事業でのベルメゾン事業の売上不振による売上減少
- ◆ 営業利益 : 全般的なコスト削減を図るも売上減少及びバーゲン等原価率上昇による粗利益率低下により営業損失

2018年度第2四半期連結貸借対照表 (対前年度末比)

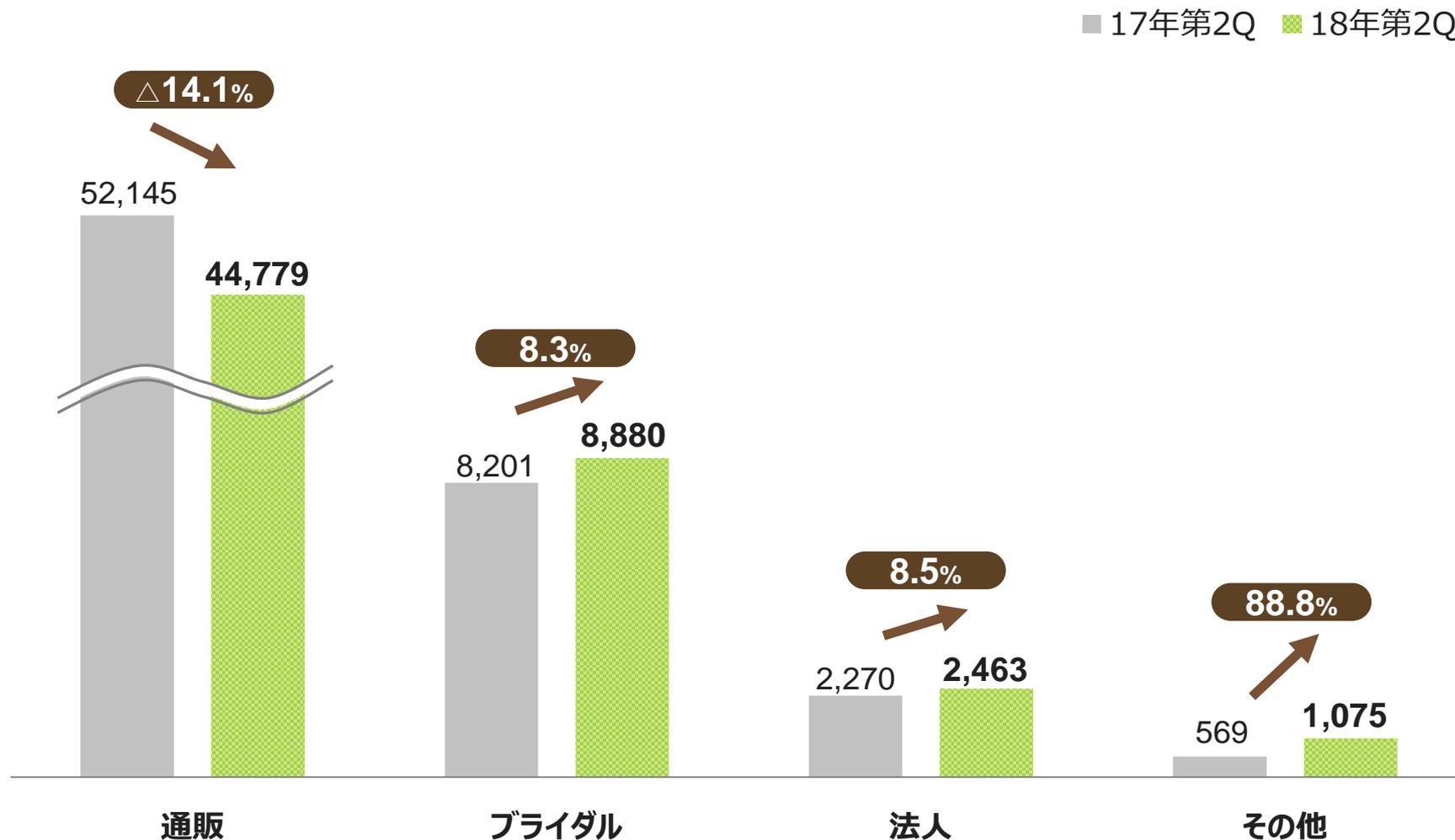
(単位：百万円)

	17年末	18年第2Q末	増減額	コメント
資産の部				
● 流動資産	48,854	40,782	△8,071	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現金及び預金：△39億円 ■ 未収入金：△17億円 ■ 商品及び製品：△12億円
● 固定資産	41,586	40,766	△819	<ul style="list-style-type: none"> ■ 有形固定資産：△3億円 ■ 投資その他の資産：△4億円
資産合計	90,441	81,549	△8,891	
負債の部				
● 流動負債	30,066	28,412	△1,654	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新株予約権付社債：+50億円 ■ 電子記録債務：△12億円 ■ 買掛金：△16億円 ■ その他（未払金等）：△36億円
● 固定負債	18,826	12,962	△5,863	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新株予約権付社債：△50億円 ■ 長期借入金：△7億円
負債合計	48,892	41,374	△7,518	
純資産の部				
● 株主資本	41,155	40,294	△860	<ul style="list-style-type: none"> ■ 利益剰余金：+59億円 ■ 自己株式：△67億円
● その他の包括利益累計額	318	△195	△514	<ul style="list-style-type: none"> ■ その他有価証券評価差額金：△1億円 ■ 繰延ヘッジ損益：△1億円
● 非支配株主持分	74	76	1	
純資産合計	41,548	40,175	△1,373	
負債・純資産合計	90,441	81,549	△8,891	

(単位：百万円)

	17年第2Q	18年第2Q	増減額	18年2Qの主な内容
営業活動による キャッシュ・フロー	1,296	△3,322	△4,619	<ul style="list-style-type: none"> ■ 仕入債務の減少：△27億円 ■ 未払金の減少：△19億円 (事業構造改革費用の支払) ■ たな卸資産の減少：+12億円 ■ 減価償却費：+8億円
投資活動による キャッシュ・フロー	△761	△29	731	<ul style="list-style-type: none"> ■ 有形固定資産の取得による支出 ：△5億円 ■ 投資有価証券の売却による収入 ：+3億円
財務活動による キャッシュ・フロー	△387	△493	△106	<ul style="list-style-type: none"> ■ 株式の発行による収入：+69億円 ■ 自己株式の取得による支出 ：△67億円 ■ 長期借入金の返済による支出 ：△6億円
現金及び 現金同等物の期末残高	16,743	13,400	△3,342	

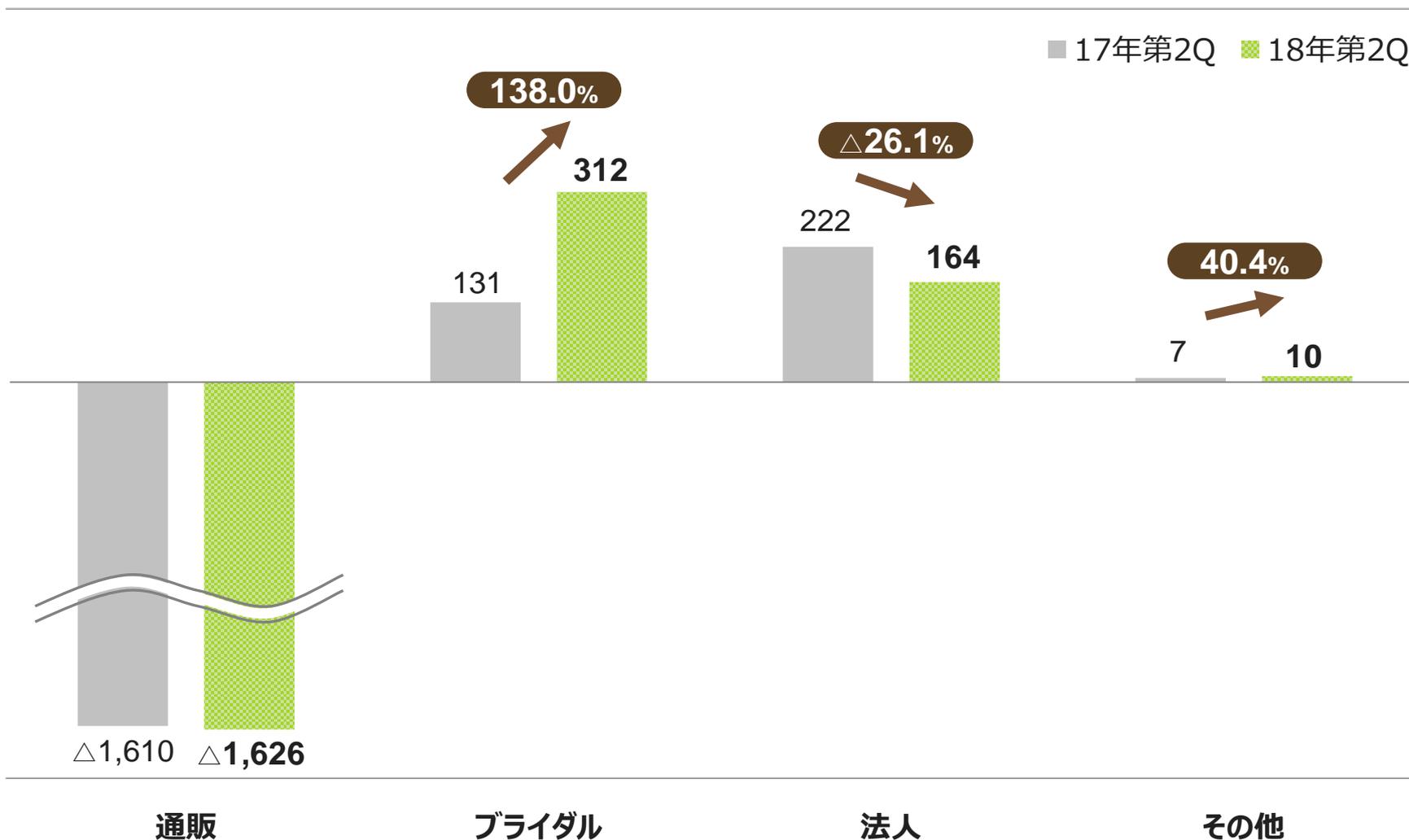
（単位：百万円）



※その他事業とは：保険・クレジットを主とするサービス事業・保育事業・化粧品製造販売事業

連結セグメント別営業利益（対前年同期比）

（単位：百万円）



※その他事業とは：保険・クレジットを主とするサービス事業・保育事業・化粧品製造販売事業

2 セグメント別概況について

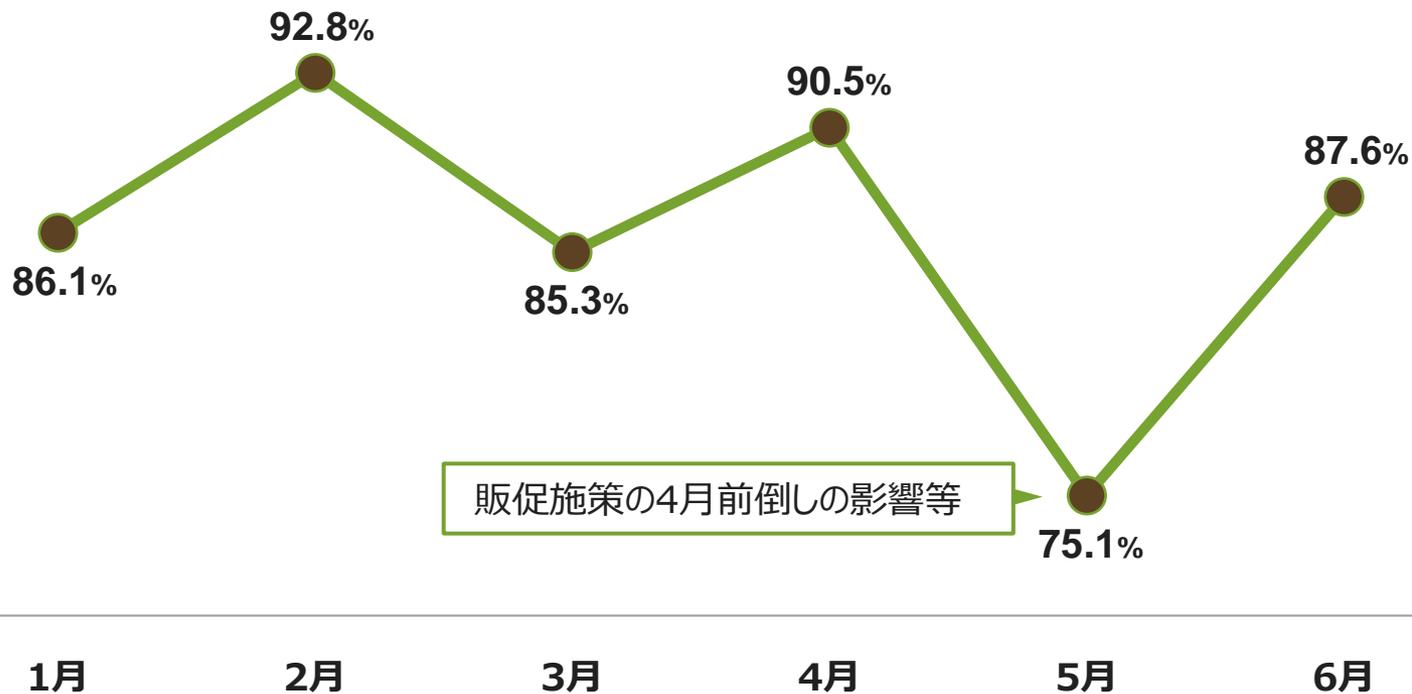
	17年第2Q	18年第2Q	増減	要因
売上高（百万円）	52,145	44,779	△7,366	
営業利益（百万円）	△1,610	△1,626	△16	
半期購入者数（万人）	224.4	184.6	△39.8	■ 継続会員の減少
半期新規購入者数（万人）	37.5	35.7	△1.8	
1件当たり受注単価（円）	10,036	9,514	△522	■ 受注単価の高い 継続会員の減少
1人当たり半期注文回数（回）	2.09	1.92	△0.17	
カタログ部数（万部）	3,056	2,247	△809	
ネット受注件数比率	82.4%	85.1%	2.7%	
スマートフォン売上シェア （ネット売上の内）	53.6%	58.9%	5.3%	

※半期購入者数以下の数値は通販事業の中の単体（頒布会事業を除いた）数値

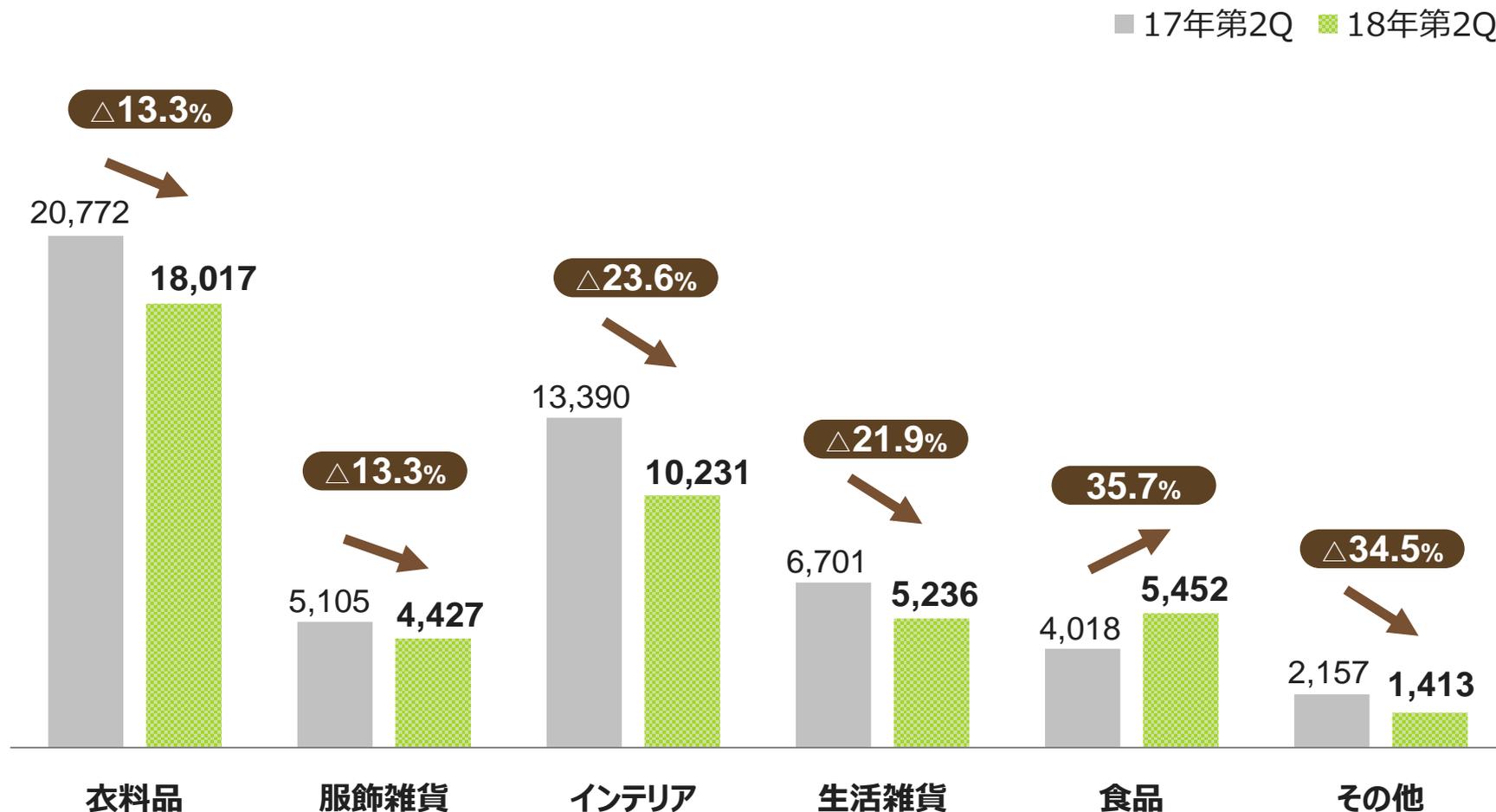
通販事業月次売上高

1～6月 累計85.9%

対前年比
100%



（単位：百万円）



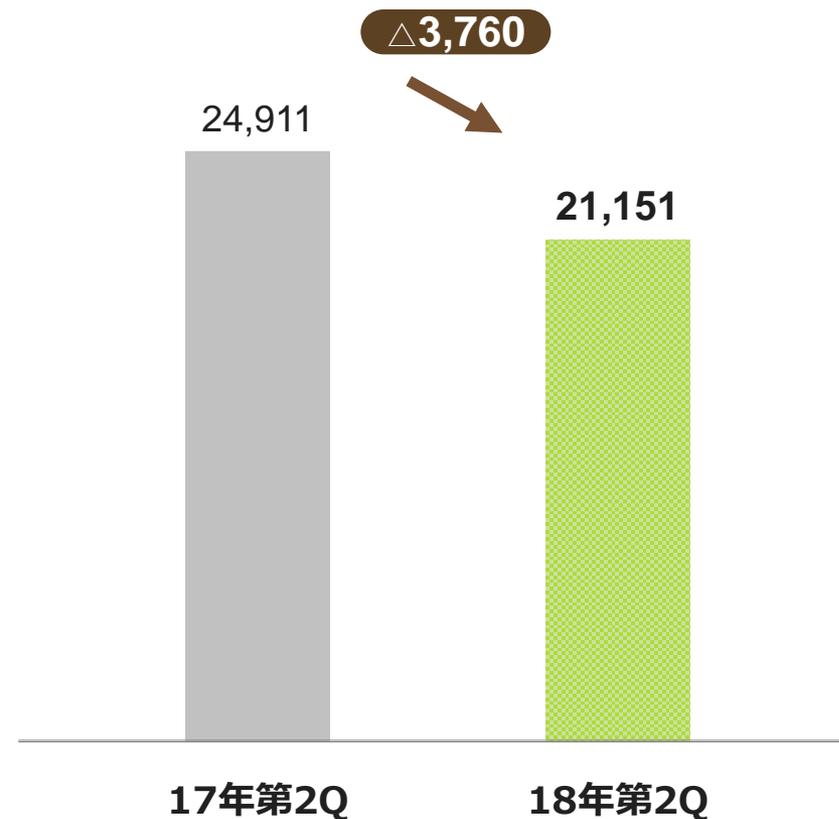
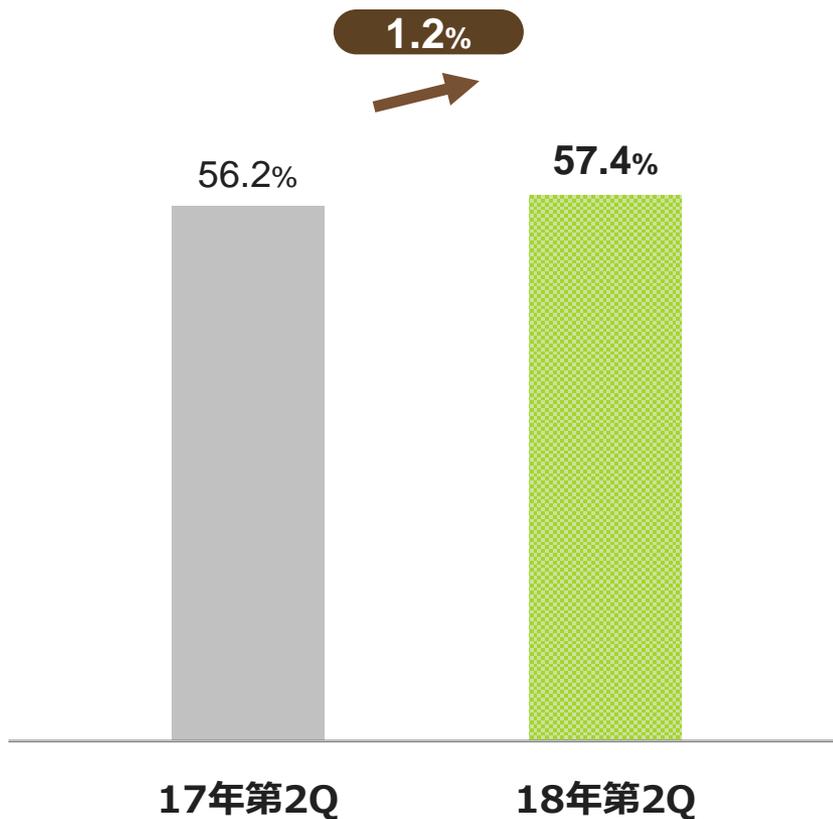
- ❖ 衣料品：アウターの型数削減による減少
- ❖ インテリア：家具・収納・ファブリック関連が不振
- ❖ 食品：子会社であるフィールライフ・ベルネージュダイレクトの売上増

※その他：花卉（かき）・ギフトカタログ等

売上原価率

販管費

（単位：百万円）



◆ バーゲン・処分売上シェア増

- ◆ カタログ部数・頁数削減による減：△1,302
- ◆ 人員減少による人件費減：△991
- ◆ 減損による減価償却費減：△336
- ◆ コスト見直しによる各費用削減：△1,131

	17年第2Q	18年第2Q	増減	要因
売上高（百万円）	8,201	8,880	679	■ 既存店全般的に好調
営業利益（百万円）	131	312	181	
ゲストハウス数（店舗）	23	23	0	
施行件数（組）	2,123	2,239	116	
平均組単価（万円）	366	374	8	

（単位：百万円）

	17年第2Q	18年第2Q	増減額	要因
売上高	2,270	2,463	193	
● 業務受託	1,572	1,697	125	■ 物流・コールセンター受託 既存クライアント出荷・受注 増
● サンプルング	547	635	88	■ カタログ同送サービス売上減 となるもアウトバウンド既存ク ライアント拡大による増
● ノベルティ	142	119	△23	
● その他	7	11	4	
営業利益	222	164	△58	

2018年度連結業績予想について

3

～2018年度当初予想修正要因と下期対策～

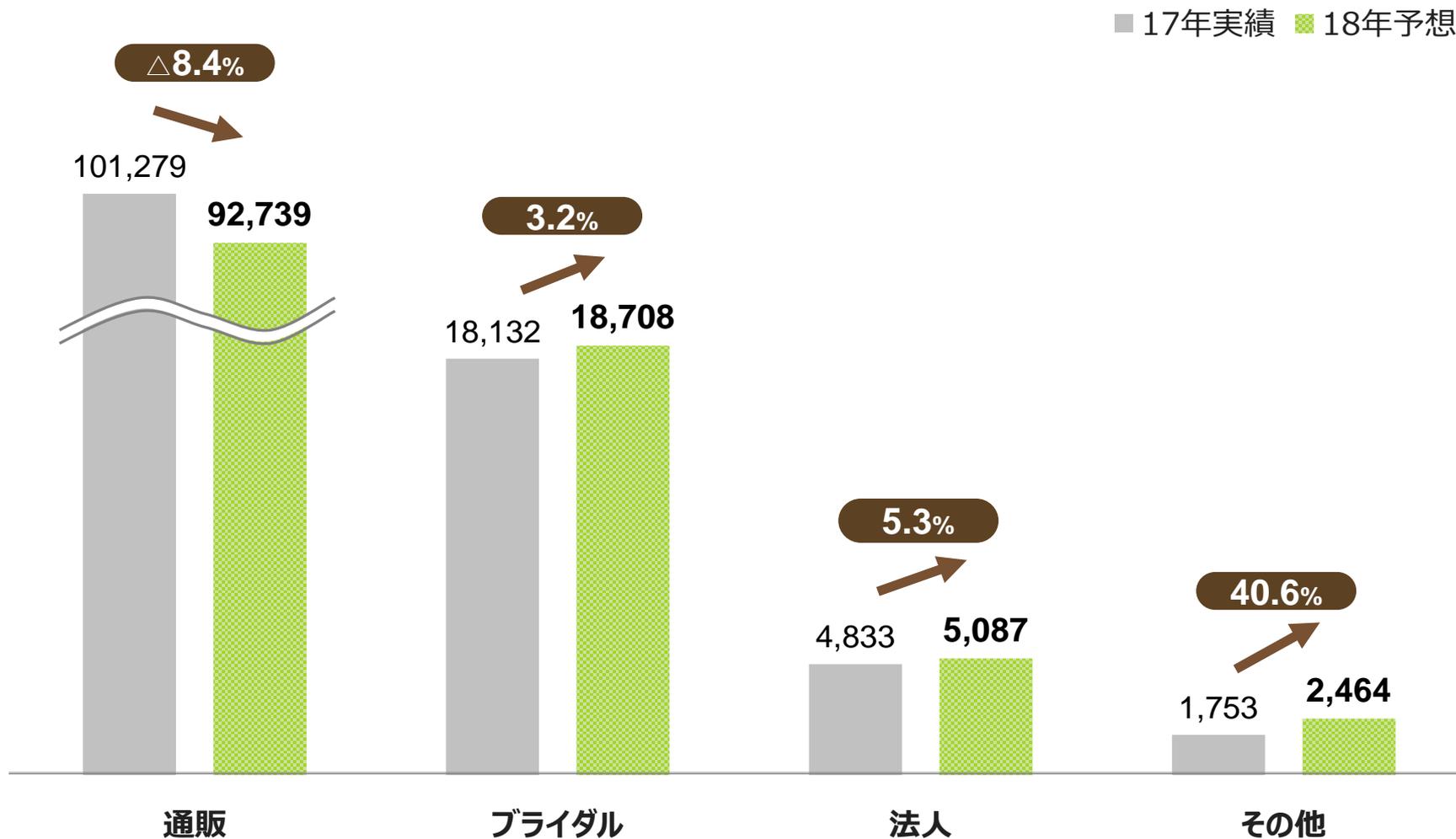
2018年度通期連結業績予想（対前年度比）

（単位：百万円）

	17年実績		18年予想		対前年	
		売上比		売上比	増減額	売上比 差異
売上高	125,999		119,000		△6,999	△5.6%
売上原価	71,437	56.7%	64,877	54.5%	△6,560	△2.2%
売上総利益	54,561	43.3%	54,122	45.5%	△439	2.2%
販管費	58,848	46.7%	53,822	45.2%	△5,026	△1.5%
営業利益	△4,287	△3.4%	300	0.3%	4,587	3.7%
経常利益	△4,206	△3.3%	400	0.3%	4,606	3.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△11,090	△8.8%	200	0.2%	11,290	9.0%

2018年度セグメント別売上高予想（対前年度比）

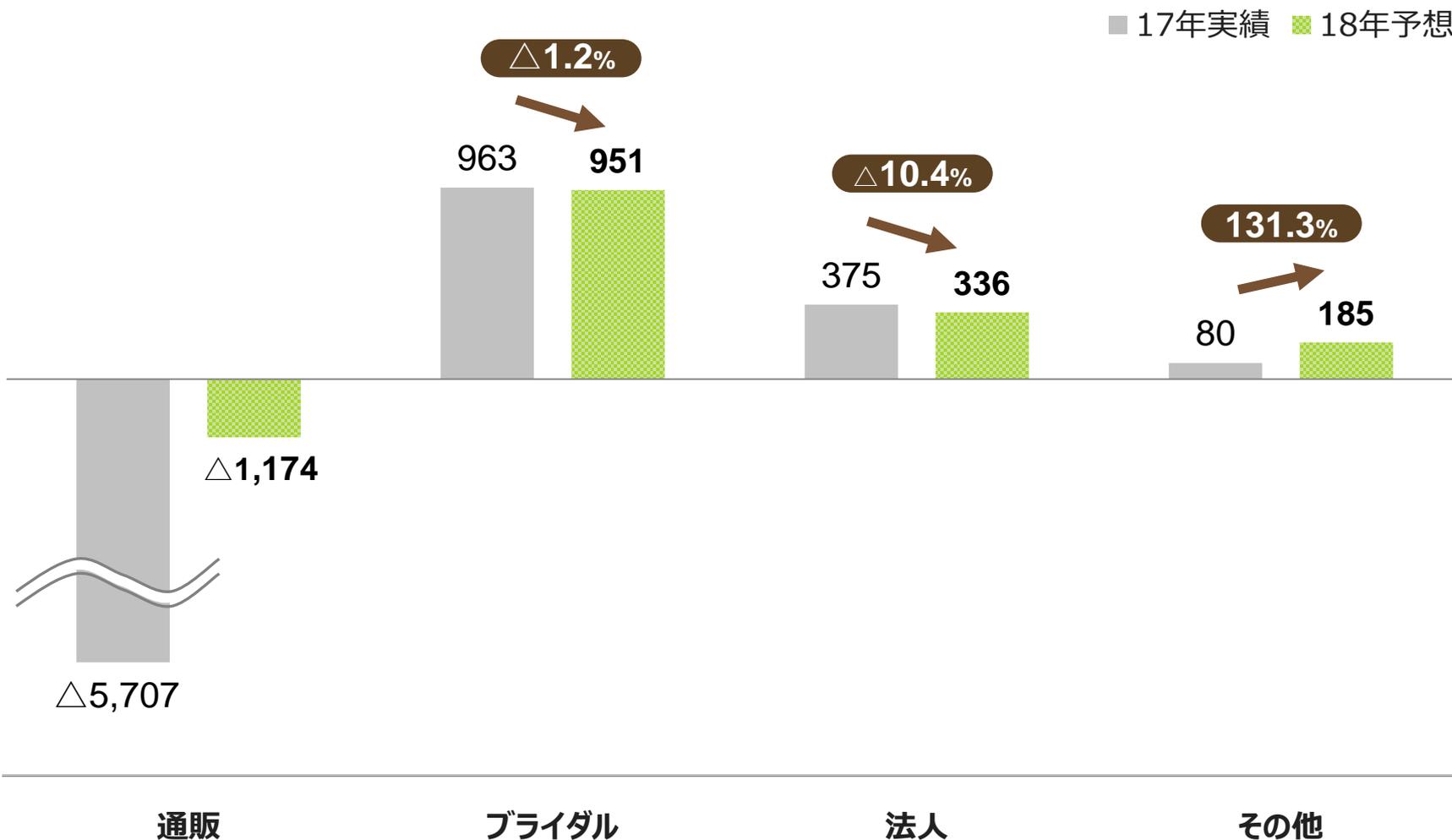
（単位：百万円）



※その他事業とは：保険・クレジットを主とするサービス事業・保育事業・化粧品製造販売事業

2018年度セグメント別営業利益予想（対前年度比）

（単位：百万円）



※その他事業とは：保険・クレジットを主とするサービス事業・保育事業・化粧品製造販売事業

2018年度通期連結業績予想（対当初比）

（単位：百万円）

	18年度当初		18年度修正		対当初	
		売上比		売上比	増減額	売上比 差異
売上高	124,000		119,000		△5,000	△4.0%
売上原価	67,091	54.1%	64,877	54.5%	△2,214	0.4%
売上総利益	56,908	45.9%	54,122	45.5%	△2,786	△0.4%
販管費	55,308	44.6%	53,822	45.2%	△1,486	0.6%
営業利益	1,600	1.3%	300	0.3%	△1,300	△1.0%
経常利益	1,900	1.4%	400	0.3%	△1,500	△1.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,400	1.1%	200	0.2%	△1,200	△0.9%

売上高

- ◆ スマホ経由受注が増加したが、カタログやPCの受注減分を補いきれていない
- ◆ カatalog効率化のため配布先の見直しを行い、カタログ部数・頁数の削減（売場面積の減少）を実施したが想定より売上が減少
- ◆ 全体セッション（訪問数）の減少

営業利益

- ◆ 売上減少による粗利益率減
- ◆ 在庫処分によるバーゲン、処分売上増加に伴う原価率増加

下期売上対策

- ◆ ホットコットやとろけるシリーズなど看板商品の販促強化・調達強化
- ◆ 販促施策追加（売上対策DMを毎月実施、大型家具送料無料キャンペーン、SNS販促拡大等）
- ◆ 外部モール出店強化

4 その他



お客様からの寄付をもとに活動する「えがおの森プロジェクト」

～ニッポンの母と子が一人でも多く笑顔になれるように～

▲ お客様との社会貢献活動「えがおの森基金」に「ハハトコ基金」を7月2日より新たに設立

『ハハトコ基金』は、“ニッポンの母と子（ハハトコ）が一人でも多く笑顔になれるように”をコンセプトに、日本国内における子どもと母親を取り巻く社会課題の解決支援に活用します。



ハハトコ基金 の3つのテーマ

テーマ1 みんなでハハになろう！

あしなが育英会を通じて遺児とその親の支援に寄付します
 ■ あしなが育英会サイト <https://www.ashinaga.org/>

テーマ2 みんなでハハトコの成長を支援しよう！

子育て事業や各種活動を通じて支援をしていきます

テーマ3 みんなで被災地の子育て応援活動を支援しよう！

被災地域の子育て活動を支援していきます



▲ 西日本豪雨災害の支援を行っています

2018年7月に発生した「西日本豪雨」に対する被災地支援として、ベルメゾンネットにて義援金募金活動を開始しました。お客様からお受けしました募金は、当社が責任を持って全額を日本赤十字社などを通じ、支援活動に役立てます。

また、7月13日には岡山県総社市に女性下着、ひざかけ、ベビー・子ども服と肌着など3,055点を、7月19日には、広島県助産師会、岡山県助産師会に産後肌着、授乳服、ベビー肌着、ベビー服、スタイ、4重ガーゼケット各300点を、広島市安芸区災害ボランティアセンターにタオル100枚を、支援物資として発送しています。

今後も各市町村の受入れ体制や必要とされているものを確認しながら、支援物資として当社商品をお届けできるよう支援を進めてまいります。

他に、千趣会グループにおいては従業員からの募金活動を行っております。



配当予想

当社グループは、経営基盤の強化を図ると共に、株主各位に対しましては、配当性向を考慮し安定的な配当の維持及び業績に応じた適正な利益還元を基本としています。

平成30年12月期の配当につきましては、平成30年2月8日付「平成29年12月期 決算短信」にて上期は無配、下期は未定とさせていただきます。

決算発表日程

- 第3四半期決算発表 2018年10月26日（金）
- 2018年度決算発表 2019年 2月 7日（木）
- 決算説明会（東京） 2019年 2月 8日（金）

当決算発表会資料記載内容のうち、将来予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。